



産別賃金統一回答問題は小委員会を設置し検討 次回、第4回中央港湾団交、重大な決意で臨む！

第3回中央港湾団交が3月14日に開催された。そして、懸案となっていた産別賃金の統一回答について、改めて業側に回答を求めた。しかし、業側は意見を取りまとめる時間がなかったとして、本日の回答は控えたいと白紙回答をしてきた。また、産別賃金の統一回答の問題については、労使間の意見の隔たりが大きいとして、小委員会を設置し協議させてほしいと求めてきた。

この申出に対し糸谷委員長は、小委員会を設置して協議したところで話すことは同じ、国会で公正取引委員会の見解を示してもらえば済む問題としながらも、休憩をとって検討するとし、休憩を挟んで検討をおこなった。

その結果、労使が同じ方向を向いて問題解決にあたらなければ、魅力ある港湾、港湾の雇用と職域は守れない。港湾産業の発展のために努力したいとし、本日のゼロ回答は大変遺憾であり、今後、重大な決意をもって臨まなければならないところだが、苦渋の選択として、次回の交渉が解決できる内容の回答であることを前提とするという条件付きで、小委員会の設置にも応じるとした。

そして、次回、第4回中央港湾団交を3月30日（金）13時から開催とすること確認し、万一、納得できない回答であれば、重大な決意で臨むと業側に告知した。また、産別賃金統一回答問題についての小委員会開催については3月20日、28日を予定とするとした。検数・検定小委員会、整備部会等についても日程調整しながら開催していくとした。

全国港湾は、戦術会議を3月27日に開催、全港湾も中央執行委員会を3月27日、28日に開催、18春闘は、3月30日、大きな山場を迎えることとなった。

連合集中回答日、大手組合は軒並み前年増！

3月14日、連合加盟の大手労働組合に対し、一斉に春闘回答が示された。

トヨタ自動車：前年実績の1、300円（ペア）を上回る額、全組合員平均3.3%増（額は現時点では非公表）。

日産自動車：3、000円の回答（満額回答）。

ホンダ：1、700円の回答（前年増）。

日立製作所：1、500円（前年比500円増で妥結）。

パナソニック：1、500円（前年比500円増で妥結）。

3月22日～26日は全港湾の賃金集中回答ゾーン、回答額大幅アップに向け、団結して頑張ろう！